

### 経済産業省のキャリア教育モデル事業に採択決定!!

『自転車のまち堺から発信する「こんな自転車欲しかったん！」』

本年6月3日、経済産業省の全国公募プロジェクト「平成17年度地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクト」に、本コンソーシアムの『自転車のまち堺から発信する「こんな自転車欲しかったん！」』



が採択されました。全国から集まった83件の応募のうち、採択は25件という難関を突破しました。堺市教育委員会、堺市商工部の積極的なご支援とご協力を受け、連携体制を作ることができた点が高く評価されました。また、昨年から実施している「学生クラブ・アクト」が、本プロジェクトに近い取り組みであることも、評価理由の1つに挙げられます。この「学生クラブ・アクト」事業のシステムや実践ノウハウが、小中学校のキャリア教育に生かされることが期待されます。

キャリア教育が問われ始めたのは、平成11年、中教審答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」において、「学校から職業への移行」が課題であるとの認識のもと、「小学校段階から発達段階に応じたキャリア教育の必要性」が提唱されたのが始まりです。その後、平成15年の「若者自立・挑戦プラン」に具体的施策として「キャリア」が盛り込まれ、本格的な取り組みが開始されました。平成16年の5大臣会合にて、「学校段階からのキャリア教育を推進し、その効果的な実施のため地域レベルにおける連携を強化する」ことが決定されました。その背景には、近年の若者のフリーター志向の広がり、無業者の増加(いわゆるニート)、新卒者の早期離職者の急増(いわゆる「7・5・3」)の顕在化などがあります。

こうした流れを受けて、経済産業省が本年度、はじめて人材育成に取り組んだのが本プロジェクトです。本プロジェクトのねらいは、ビジネスに直結した実践的なプログラムの開発および検証と、各地域における効率的な産業界と教育界の連携の推進です。この要請のもと、本コンソーシアムでは、地域の特性を生かしたキャリア教育プログラム作りを行い、実践に向けた準備を進めています。

本プロジェクトの参加実施校は、さつき野小学校・さつき野中学校(小中一貫教育校、キャリア教育特区実施校)、殿馬場中学校、錦小学校、

西陶器小学校、浜寺小学校の6校です。9学年、561人の生徒・児童が参加し、「こんな自転車欲しかったん！」をテーマに自転車の企画書を作成し、専門家の前でプレゼンテーションします。授業を実施するにあたり、株式会社シマノにご協力いただき、自転車づくりにかける情熱や夢をお話いただく中で、自転車づくりのミッションを直接子どもたちに伝えていただきます。子どもたちには、自分たちが住んでいる地域にすばらしい企業があることや、ものづくりにかける情熱などをしっかり受け止めてもらい、将来のキャリア形成への意識付けができるようお手伝いしたいと考えています。

本コンソーシアムの役割は、学校と産業界との連携の仕組みづくりと、キャリア教育カリキュラム作成および授業実践の支援です。実践にあたっては、トレーナー、学生サポーター、学生ITサポーターが、授業実践の支援に当たります。学生サポーターは、授業に参加し、子どもたちの相談相手になったり、グループワークの支援を行います。また、学生ITサポーターは、企画書のプレゼンテーションの際に必要なパソコン技術指導を行います。小中学校の先生がたに対する事前研修、カリキュラム作成、効果測定、キャリア教育研究会などについて、本コンソーシアム参加大学の教員の指導、協力も得ます。

小中学校における授業は10月から本格的に始まります。本プロジェクトは全国からも大変注目されているプロジェクトでもあり、その成果も重要です。学生、教員の皆様の積極的な参加を期待しています。お問合せは事務局まで。

#### ■ 第1回協議会開催される!

先月7月28日、第1回「キャリア教育プロジェクト連携推進協議会」が開催されました。参加実施校、教育委員会、商工部、商工会議所、株式会社シマノ、近畿経済産業局そして本コンソーシアムなど関係者が一同に会し、本プロジェクト実施にあたっての連携、協力体制を確認しました。堺市からは本プロジェクトに主体的に関わっていくことが明言され、また教育委員会からは、本プロジェクトが与えるカリキュラム効果に大変期待しているとの話がありました。近畿経済産業局からは、教育委員会、商工部、コンソーシアムの連携の強さは全国でもトップクラスと高い期待が述べられました。

### 単位互換のお知らせ 今年度は2校増えて12大学・短大の学生が他校で学ぶ

今年度は、新たに大谷女子大学・大谷女子大学短期大学部・関西福祉科学大学が参加し、12大学、81科目による単位互換がスタートしました。

他の大学へ行くことで、今まで見えなかった自大学の色々なことにも気付けるチャンスです。後期受けの講義もありますので、是非この機会に参加してみませんか!

#### 【平成17年度単位互換制度参加大学】

大阪女子短期大学、大阪府立大学、大阪芸術大学、大谷女子大学、大谷女子大学短期大学部、関西福祉科学大学、帝塚山学院大学、羽衣国際大学、阪南大学、プール学院大学、プール学院大学短期大学部、桃山学院大学

## 国立大学法人 和歌山大学

「個性輝く存在感のある学問の府」を目指して

本学は、歴史と伝統を重んじ、進取の気性を育みながら常に社会に貢献してきたことを誇りとし、世界と日本の



の知の拠点をめざし、地域のリーダーとしてよりいっそうの貢献を行い、社会から信頼と尊敬を得られる「個性輝く存在感のある学問の府」であることをその役割・使命としています。特にこれまでで

上に「学生満足」に力を注ぎ学生へのサービスを徹底することを基本方針にしています。

学部・大学院

教育学部・教育学研究科

経済学部・経済学研究科

システム工学部・システム工学研究科博士前期課程・博士後期課程専攻科

特殊教育特別研究科

URL: <http://www.wakayama-u.ac.jp/>

## 会員参加大学

現在会員となっている大学です。

大阪芸術大学	大谷女子大学	羽衣国際大学	プール学院大学短期大学部
大阪女子短期大学	大谷女子大学短期大学部	羽衣学園短期大学	桃山学院大学
大阪府立大学	帝塚山学院大学	プール学院大学	和歌山大学

## 個人会員参加大学

大阪健康福祉短期大学	大阪明浄大学	近畿大学医学部	阪南大学
大阪千代田短期大学	関西福祉科学大学	太成学院大学	

### 理事会・総会が開催されました

6月7日(火)、大阪府立大学学術交流会館にて、平成17年度第1回理事会・第6回総会が開催されました。議事の内容は以下の通りです。

第1号議案 議事録署名人の選出の件

第2号議案 平成16年度事業報告および平成16年度決算報告(案)の件

第3号議案 平成17年度事業計画(案)および平成17年度事業収支予算(案)承認の件

第4号議案 学長交代による理事交代および退任の件

第5号議案 和歌山大学の団体会員入会の承認および理事就任の件

第6号議案 堺市教育委員会との連携協力に関する「堺市教育委員会と特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアムとの連携協力に関する協定書」および「堺・学校インターンシップに関する覚書」の承認と締結について承認の件

## 連載 コラム⑦「毛吹草」

桃山学院大学経営学部 教授 長谷川 彰

『毛吹草』という一冊の本があります。これは松永貞徳門下の松江重頼が、1638年(寛永15年)に著した俳書です。それには重頼が歩いて知り得た全国各地の名産品が記載されています。その数は1807種に及んでいます。

なかでも、五畿内(山城、大和、河内、摂津、和泉)のしめる比率が圧倒的で、706種に達しています。和泉国からは、

「南庄堺織紗綾」や「茶酌」や「醤油溜」や「ヤスマサ飴」などの43種があげられています。

16世紀から17世紀にかけての商品生産の地域分布を示す一つの史料と言えるでしょう。



## インターンシップ合同オリエンテーション

産官学地域連携を推進する南大阪地域大学コンソーシアムの「インターンシッププログラム」の一環である「インターンシップ合同オリエンテーション」が、平成17年7月2日(土)に中百舌鳥の「さかい新事業創造センター 1階多目的会議室」で開催されました。

本年度の参加学生は7大学・短大の52名、その他(企業・行政・大学関係者)18名にのぼりました。オリエンテーションでは、最初に大学代表として、プール学院大学・プール学院大学短期大学部の井上義祐学長の挨拶と激励の後、受け入れ企業代表として、㈱スマートバリューの渋谷順社長、受け入れ自治体代表として、堺市総務局人事部職員能力開発センターの戸奈章所長代理の挨拶とアドバイスに続き、昨年度参加者の帝塚山学院大学4回生の福元由梨さん、桃山学院大学4回生の岡本貴洋さんの体験談がありました。

最後に、昨年度同様、谷山史珠講師によるビジネスマナー講習があり、会場では大きな声で挨拶する学生の声が響き渡り、活発な講習風景が見られました。

参加学生からは、「インターンシップに臨む心構えができてよかった」「社会人としての基礎が学べてよかった」「他大学の学生と一緒に参加でき、また貴重な体験談が聞けてよかった」等の感想があり、大反響の後、終了しました。

### インターンシップ体験記



昨年インターンシップで体験してきたことを、今年予定しているみなさんに話すことで、まず自分が振り返ることができました。そして、インターンシップで学んだこと、反省したことやその時決心したことなどを思い出し、今それらの経験が活かされているかを見つめ直せました。最後に、この話がみなさんの参考になれば、うれしいです。

桃山学院大学 経営学部経営学科4回生 岡本貴洋  
インターンシップ先：㈱ワークアカデミー

先日はみなさんしっかりと聞いてくれて本当にありがとうございました。みなさんから積極的な姿勢が感じられ、うれしく感じました。そこで、より充実したインターンシップにする為にみなさんにアドバイスがあります。それは諦めない事です。すぐに見た感じから判断し、できないと決め付けしないでください。もしかしたらそれをやる事によって新しい自分の一面と出会えるかもしれません。諦めず、前へ進んでいってください。頑張ってください。  
帝塚山学院大学 人間文化学部4回生 福元由梨  
インターンシップ先：㈱サカイ引越センター



## ベンチャースクール2005開催

堺市及び(株)さかい新事業創造センターでは、南大阪地域における創業の促進を支援するため、優れた起業家やビジネスマンを輩出する「ベンチャースクール」を開催しています。本年度も、10月からいよいよ「本講座」が始まります。「本講座」では、起業するには欠かせない事業コンセプト、ビジネスプラン、資金計画などの基礎知識の講義や実習、起業後に必要となる会社設立、経営の基礎知識をはじめ、創業支援体制、マーケティング、起業体験談など、具体的な事例を交えたプログラムになっており、全講座を受講すれば「成功を予感できる事業計画書」が完成するしくみになっています。

講座で作成した「事業計画書」は、2月に実施される「さかい発

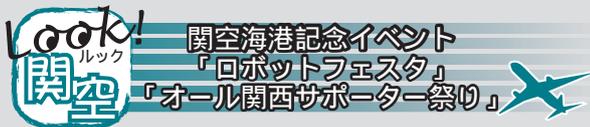
ビジネスオーディション2005」の応募にそのまま提出でき、グランプリ受賞者には賞金の他に、堺市創業者支援金融融資対象となることをはじめとするビジネスプランの実現に向けた支援が受けられます。起業意欲のある方、新しい事業分野開拓を目指している方、起業後間もない方々の受講をお待ちしています。

お問い合わせ

株式会社さかい新事業創造センターベンチャースクール担当  
TEL:072-240-3775  
FAX:072-240-3662  
E-mail:school@s-cube.biz  
URL:http://www.s-cube.biz



南大阪地域は連携し、起業家を支援しています。



関空海港記念イベント  
「ロボットフェスタ」  
「オール関西サポーター祭り」

関空開港記念イベント

開催日：9月3日、4日

お問い合わせ：関西国際空港(株)イベントグループ

TEL.0724-55-2156(平日9:00~17:00)

9月4日の関空開港日を記念して、高性能ロボットのデモンストレーションや体験コーナーなどを行う「ロボットフェスタ」や、民芸アトラクションや郷土特産品の即売会などを行う「オール関西サポーター祭り」などのイベントを行います。9月4日には、ANAポケモンジェットもやることができます。



### ベンチャービジネスインターンシップ 学生募集!

堺市では、厚生労働省の「地域提案型雇用創造促進事業」の推進のため、「堺雇用推進協議会(構成員:堺市・堺商工会議所・美原町商工会等)を設立し、地域が丸となり地域のものづくり人材を育成し、地域の再生と雇用の増大を図るためのパッケージ事業の一環として、ベンチャービジネスインターンシップを実施しています。

具体的には、「従来の企業の仕事の一部しか体験できないインターンシップではなく、まさにオールマイティーな経験ができる新規創業者のもとで3ヶ月~6ヶ月の長期インターンシップを実施する」というものです。南大阪地域大学コンソーシアムでは、堺市から推進協力の依頼を受け、「さかい新事業創造センター」の入居ベンチャー企業7社のインターンシップ希望学生の募集を行っています。企業側では、意欲ある、目的意識の明確な学生を求めており、それだけに、学生には技術力や高い経験を身につけることができるまたとない機会となっております。詳細は所属している大学の担当窓口か、南大阪地域大学コンソーシアム事務局までお問い合わせ下さい。



学生記者による会員大学の突撃取材、第3弾です。今回は個人会員の大学6校を紹介いたします。太成学院大学、関西福祉科学大学、大阪明浄大学、大阪府立大学、大阪千代田短期大学、阪南大学—それぞれの大学の学生記者が自慢の研究室をレポートしてくれました!

## 太成学院大学 釣島研究室

<http://www.tgu.ac.jp/>

グローバルスタンダードを踏まえ、ベンチャービジネスを学ぶ。

日本ではベンチャービジネスがあまり起きていません。釣島研究室では、若い世代にベンチャービジネスの起業を奨めることを中心にゼミを行っています。個性を活かした、夢を持った生き方ができるように努力し、世界視野、グローバルスタンダードを踏まえた上でベンチャーを学んでいきます。釣島先生はアメリカのシリコンバレーでベンチャービジネスを実際に起こした経験をお持ちで、日本でもベンチャー企業を起業していけないかと考えています。ベンチャービジネスを世界視野で見ることができれば、「0からでもスタートすることが可能である」と可能性を語っておられました。

また、釣島研究室では先生が独自に「教育問題」について研究しています。今の日本は活気が無く、その原因は「教育」にあると見ています。日本を含む先進国で叫ばれている学力低下の問題を解決する為の「方程式」を考えているそうです。教育問題においても世界視野で見れば良いところは良く、悪いところは悪いものばかりで、先生によると経営と教養は別であるが似ている部分が多いそうで、ベンチャービジネスと同様にグローバルな視点から改

善できないかと研究中だそうです。今後は、この考えを数多くの方々に深く知って貰おうと雑誌や講演などを通して伝えていく、と話してくれました。

今回、釣島研究室を訪れて、ベンチャーというものに強い意気込みを感じました。Livedoorや楽天など、近頃はベンチャー企業も随分注目を浴びようになってきました。成功するか失敗するかは別にしても、日本にもベンチャー企業が多く起業するようになれば活気が出てくるのではないかと思いました。また、ベンチャーと教育問題について、グローバルスタンダードという幅広い視野を持つことで、新しい発想が得られ、それらを活かすことでこの国の次の世代に繋がる可能性があるということを知ることができました。



釣島平三郎先生



取材記者  
小西真悟、明渡義典、都竹祐基(左から)  
総合経営学部経営経済学科2回生



大野太郎先生

電気は消え、一見誰もいないように見える研究室に、大野太郎先生は隠れています。先生はとても忙しい方なので、研究室にいないこともしばしば……。でも研究室にいるときは温かく迎え入れてくれます。

大野先生は「人生を豊かにできる、子どもからお年寄りまでのストレスマネジメント」を研究テーマとして幅広く活躍しています。私たちのゼミでも、ストレスマネジメントの知識を深めています。子どもから高齢者までのそれぞれのストレス、ストレス反応、コーピング法……。専門的な内容を時には真剣に、時にはおもしろく身につけています。中でも、「リラクゼーション」はゼミ生には必須の課題です。具体的に、音楽にのせて、自分の心も体もリラックスさせる感覚を覚えることができ、そして他の人にもこの効力を伝えてあげられ

る能力も習得しているのです。

私たち、健康科学科の学生は養護教諭と産業カウンセラーを目指しています。その知識としてストレスマネジメント学習は今後の私たちの大きな財産になると思っています。これからもストレスマネジメント教育の権威者である大野先生の魅力のある授業でたくさんのことを学び、メンタルヘルスに強い養護教諭や産業カウンセラーを目指していきたいと思えます。

大野先生、これからもご指導をよろしくお願ひしますね!



ゼミの様子

めざすは養護教諭・産業カウンセラー!  
リラクゼーションは必須課題。



取材記者  
川西明佳・藤村博子  
健康福祉学部  
健康科学科3回生

## 関西福祉科学大学 大野研究室

<http://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/fuksi/index.html>



鈴木 勝先生

鈴木勝研究室。ドアの外側から鍵が刺さったままなので在室中かと思えば出かけていたりする。本棚にぎっしりと観光関連の本がきれいに並べられているのとは対照的に机やプリンター前には大量の書類が微妙なバランスを保っている。私と同じB型に違いない、と信じて疑わなかったのに、今年になってO型であることが判明した・・・。

スーツに黒のリュックサック・後ろ籠付ママチャリの出で立ち最近夏を迎えてクールビズになった以外はいかなる時も変わらない。そんな気取らない鈴木教授の専門は、本人曰く「何でも屋」。観光に関することは国内・海外旅行商品はもちろん、商品企画、観光振興、インバウンド旅行に観光行政、その他もろもろ興味があれば何でも研究する。「やりたい事がいっぱいありすぎちゃって困るんだよね」が口癖である。

と言うだけあって、先生は国内外をとにかくメチャクチャ飛び回る。やれイラン観光振興セミナーだ、北東ロシア・アカデミックフォーラムだと日本各地、時に海外へと足を運ぶ。それも聴講に行くのではなく、大概は話者として壇上に居るわけで、その準備も半端なボリュームではない。「いや、

そうすると話す立場の自分が一生懸命勉強するでしょ？ほら、これ来週話す分なんだけど、掘り下げていくと面白いんだよねえ。」忙しい、と全く愚痴に聞こえない調子で愚痴をこぼしながら満面に笑みを浮かべる。

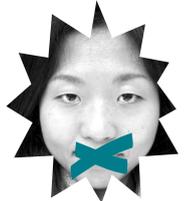


先生のフットワークの軽さは個人プレーに留まらない。2002年1月には「安全確認のため」9・11テロ後いち早く学生とニューヨークへ乗り込み、今年は2月にゼミ旅行を決めたかと思えばパバッと現地旅行会社と現地ホテルの訪問研修の手配をし、気がつけばオーストラリアへ着地である。国内でも旅行博にインバウンドセミナー、アラスカ旅行の商談会など招待状が届くものには「学生を連れて行きます」と添えて返信し、私用に旅行会社の事務所を訪れる際に居合わせれば「学生の勉強にもなりますんで、ちょっと一緒に失礼します。」とさらっと引き入れてくれる。あの笑顔をもってすれば、誰も断れまい。

鈴木教授の行動基盤は「自分の目で見なきゃ信じない」。自分が目にした最前線を私達学生に伝え、同時に自分で足を運び「現状」を知る重要さを説く。そして実際に足を運ぶ機会を与えてくれる。自分の知識・強みを出し惜しみしない、いずれより良くなって返ってくるから。無理強いはいしないが、やる気があればとことん付き合う。

そんなスタイルを慕ってか今日も鈴木勝研究室を目指して大学内外からの訪問客が止まない。

観光に関することならお任せ！  
フットワークの軽さから学ぶ最前線。



取材記者  
船井佳美  
観光学部観光学科  
4 回生



山東 功先生と共に

初めて先生の講義を受けたのは、2回生前期の「言語学」の授業でした。その授業で、「ことば」の研究に自然科学的な視点や、社会科学

的な視点も存在するということを知り、私たちは衝撃を受けました。このことばの面白さを再認識した経験が、後に山東ゼミで学びきっかけとなりました。

山東先生の研究分野は、「日本語学・日本思想史」です。幅広いですが、そこに共通していることは「日本語をどのように見たのかという歴史に関する研究」だそうです。具体的には、明治期の学校文法成立史や、近代国語施策の歴史的展開についてをテーマに論文を書いておられます。先生はこれらのテーマを院生の時からずっと研究されているそうです。近年では、ブラジル日系社会の言語生活について21世紀COEのメンバーとして調査しておられます。今年の夏にも、またブラジル現地調査に行かれるのだとか。

そんな先生から、私たちが一番に学んだことは、「文献講読と文献調査法を極めて重視する」ということです。先行研究をよく調べることなしに論文を書いても、それは根拠のない思いつきの話に過ぎず、内容の充実したものは書けないから、

というのが厳しく指導なさる理由だそうです。

その厳しさの一方で、山東先生はゼミ以外でも時間を割いて相談に乗ってくださる、とても気さくな先生です。よく私たちに「中心となるものをしっかり持っていれば、周りがよく見える」とおっしゃいます。「その立ち位置は自分で決めればいい。」これは、学問的なことに限らず、将来の生き方、考え方にも通じているように思います。進路について悩んでいる時、迷っている時など、このことばに何度も励まされています。

ゼミの雰囲気は、少人数で楽しく勉強しています。それぞれの研究テーマについてだけでなく、生活の中で気づいたことばの不思議について、あれこれ話し合っているうちに時間がたって、「あれ！もうこんな時間？」ということもしばしばです。それもこれも、専門分野外の知識も豊富で、視野の広い先生のお話に聞き入ってしまうからです。先生はそれらのお話と一緒に、研究室の大量の本から適当なものを選んで提示してくださいます。私たちは、まるで言語学のソムリエのような先生に尊敬の念を抱きながら、この研究室で充実した時間を送っています。

先生は言語学のソムリエ！  
ゼミでことばの不思議に出会う。



取材記者  
増田祥子・谷本 愛  
人文社会学部人文学科  
4 回生

山東研究室

大阪府立大学



## 大阪千代田短期大学 福井研究室



福井逸治先生

福井研究室のドアを開けたとたん「ホワーン」とコーヒーの香りが漂ってきます。でも、すぐ目につくのは飲み物ではなく、机の上から天井近くまで積み上げられた新聞と、数え切れないほどたくさんの記事の切抜き

です。  
安藤：「新聞が山のようですが、これは何のためですか？」  
福井先生：「20世紀最後の1年、2000年1月1日～12月31日までの、東京の朝日、毎日、読売の朝夕刊、それに大阪の毎日新聞の朝夕刊が全部置いてあります。」  
安藤：「すごくいっぱいあって崩れてきそうですね。」  
福井先生：「世紀の変わり目の記録だから保存しています。これを材料に、東京と大阪の記事の比較研究をするつもり。切抜きは最近の新聞からで、授業で使ったりする重要なものですよ。」  
安藤：「先生の授業のプリントは全部に、教科、日付、ナンバー、最後には『止め』と書き込まれていて、とてもわかりやすいですね。」  
福井先生：「そうしないと、いつのものだったか、わけわからんことになるからね。」



研究室には新聞の山!

安藤：「コーヒーのいい香りがしてませんが、たくさん飲んでいるのですか？」

福井先生：「毎日、コーヒーメーカーでいれて飲むのが好きです。そのかすを研究室の窓際に干しておいて、しばらくして持って帰り、肥料のかわりにします。」  
安藤：「肥料、ですか？」  
福井先生：「ただの土代わりかもしれないけど、捨てるのがもったいない気がして...。」  
安藤：「ありがとうございました。」

コーヒーの匂いに癒されて。  
世紀の変わり目を東西の新聞で比較研究。



取材記者  
安藤加奈  
総合コミュニケーション  
学科2年生



ロボットはこんな大変な作業でも。



阪南大学

## 花川研究室

厳しいけれど、スキルが身につく個性派ゼミ!  
勉強以外にも修得できる!?



花川典子先生

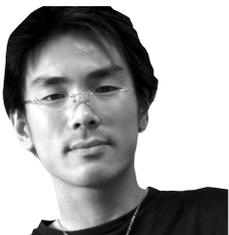
「何かいい話ないかな...」花川研究室に行くとは一度は聞ける言葉です。先生自身もものすごく多忙で仕事が増えるという「悪い話」しか舞い込んでこないそうです。その

上、4年生や院生の研究も見ている、その研究内容もグリッドコンピューティング、ロボット、シミュレータと多種多様。先生自身も専門外のことで生徒と一緒にがんばっています。これだけ多忙ならいい話も探したくなる気持ちもよくわかるというものです。

先生自身は企業出身の方で、かなり現実的な方針で先生自身アカデミックハラスメント(通称:アカハラ)をかなり気にしているようです。それ故に、先生に慣れていない人はみんな口をそろえて「怖い」とか「授業が難しすぎ」「厳しい」といった意見をよく耳にしますが、全然そんなことはありません。(ホントか?)それは先生のことを知らないだけで知れば本当にそんなことはありません(と思います)。ただ多少の慣れは必要ですが...。僕自身はこれくらい厳しいのが大学だと思っているので全然気にはならないです。むしろこれくらいじゃないと高校以上のスキルは身につかないし大学に来た意味がないと思います。

確かに先生は厳しいのですがそれだけ自分の身につくことも多く、内容も濃いということなのでとても力のつく研究室です。阪南大学でも花川研究室のような研究室はたぶんないでしょう。勉強面だけではなく、先生が話してくれる企業の実態などは大変参考になります。ただ聞いていて怖くなることも多々ありますが、それがお酒の席だともう大変。内容は本当に危険な内容も含まれるためあまり言えませんが、「この業界は、ほんとにはね、...なんですよ」という類の話がたくさんできます。

研究室の学生も個性ある人たちが集まってきています。コンピュータやゼミの授業ではやらない雑学の深いところまで広範囲に知っている学生たちです。勉強面だけではなく本当に広範囲にいろんなことが習得できる研究室です。僕自身ここまで変わった人が集まる場所はない、というより他にできると危険?とまで感じたことさえあります。大学生活を普通に終わりたい人にはお勧めです。最初は戸惑う人がほとんどでしょうが、住めば都。慣れば本当に快適で、なにより楽しいです。先生と話をするだけとか、なんとなく人が集まる場所です。研究室の学生には研究室を訪問すれば会うことができます。そこでいろいろな世界を見ることができるといいですね。本当にいろいろな...。こういう感じで日々楽しくやっています。花川研究室はいい所。皆様機会があれば一度おいでませ〜。



取材記者  
妹尾 潤  
経営情報学部  
経営情報学科4年生

http://www.hannan-u.ac.jp/index.html



## 南大阪地域講座Part4 講座一覧

<b>10月5日(水)</b> 会場:さかい新事業創造センター多目的会議室		
10:00~11:30	故ダイアナ妃とベッカムの英語	ブール学院大学国際文化学部教授 伊達民和
13:00~14:30	南河内の食文化を探る	大阪女子短期大学名誉教授 室屋ユリ子
<b>10月6日(木)</b> 会場:さかい新事業創造センター多目的会議室		
10:00~11:30	タイの仏教と社会	阪南大学経済学部教授 石井雄二
13:00~14:30	地球環境問題の現状と大阪ガスの取り組み	大阪ガス株式会社 環境部
<b>10月24日(月)</b> 会場:さかい新事業創造センター多目的会議室		
10:00~11:30	和歌でめぐる和泉国 - 土佐日記・熊野詣の道 -	大谷女子大学文学部教授 阪口和子
13:00~14:30	南大阪再生構想 - 大学と地域社会 -	桃山学院大学経済学部教授 津田直則
<b>10月25日(火)</b> 会場:さかい新事業創造センター多目的会議室		
10:00~11:30	田舎の子育て風景を街に創る - 泉南・熊取 アトム保育園の試み -	和歌山大学生涯学習教育センター長・教授 山本健慈 和歌山大学教育学部講師・アトム保育園園長 市原悟子 帝塚山学院大学名誉教授 鶴崎裕雄
13:00~14:30	泉州古代のひかり - 行基の業績と伝承 -	
<b>10月27日(木)</b> 会場:大阪府立大学大仙キャンパス(旧大阪女子大学)70周年記念ホール		
13:00~14:30【堺学1】	戦国時代の堺	帝塚山学院大学文学部教授 森田恭二
14:50~16:20【堺学2】	近世堺における庶民教育と町人	大阪府立大学人間社会学部教授 山中浩之
<b>11月8日(火)</b> 会場:堺商工会議所大会議室		
10:00~11:30	羽衣発信日本文化 - 能『マクベス』の創作と講演 -	羽衣国際大学日本文化研究所所長・教授 泉 紀子
13:00~14:30	和泉国の近代化	大阪府立大学経済学部助教授 岡田光代
14:50~16:20【堺学3】	無形文化財「こおどり」	櫻井神社宮司 井守 節 堺こおどり保存会会長 森口 巖
<b>11月10日(木)</b> 会場:さかい新事業創造センター多目的会議室		
10:00~11:30	おもちゃ映画って何? - 日本映画の歴史と大阪 -	大阪芸術大学映像学科教授 太田米男
13:00~14:30	医師が診たヒマラヤ	羽衣国際大学人間生活学部教授 大湊 茂
14:50~16:20	天王寺動物園と緑の戦略	大阪芸術大学環境デザイン学科教授 若生謙二
<b>11月16日(水)</b> 会場:堺市立みはら歴史博物館(M・Cみはら)ホール		
14:00~15:30【堺学4】	美原の誇り 河内鑄物師	堺市立みはら歴史博物館館長代理 泉谷博幸 * 歴史博物館見学あり、初芝駅より送迎バスあり

堺学1~4については、大阪府立大学人間社会学部上方文化研究センター、財団法人堺都市政策研究所との共同開催です。

### 「友の会」特別講座

南大阪地域大学コンソーシアムでは、「南大阪地域講座」をますます充実していくために、「南大阪地域講座友の会」を設立し、会員を募集しています。特典として「特別講座」が受講できます。7月9日(土)には、堺市西湊町の登録有

形文化財である創業四百有余年・伝統漢方専門薬局・片桐樓龍堂の特別見学会が実施されました。国内外の専門家から高い評価を集めている漢方医薬専門資料館や「龍穴」のある庭園(一般非公開)など、十七世当主・片桐平智氏自らの案内と説明に受講者全員、伝統の重みとすばらしさに圧倒されました。

### 会員を募集しています!

南大阪地域大学コンソーシアムの会員になりませんか? 本コンソーシアムは、南大阪地域の大学や大学関係者の皆さまの参画により運営されています。大学相互の連携や地域社会の発展に向けた事業に参画・協力ください。

会員区分: 団体会員(年会費20万円~50万円)  
個人会員(年会費1万円)  
賛助会員(年会費1口5万円から)



関西国際空港(株)は南大阪地域大学コンソーシアムの運営を支援しています。

### 編 ☆ 集 ☆ 後 ☆ 記

事務局の新メンバーとして、6ヶ月。つぎからつぎと案件と仕事が増えすぎて、あっぴあっぴあぶの毎日です。(あ) 今年は、セミが異常発生しているそうです。セミの大合唱に負けないように事務局も頑張るぞ!(う) 猛暑と蝉の大合唱に圧倒されながら、初めての国プロに取り組んでいます。(ん) このうだる暑さの中、私たち南大阪地域大学コンソーシアム事務局は南大阪地域の活性化にがんばっています (o^\_^)bもっとx2この南大阪を皆さんの力で熱い街にしていましょ o(^\_^)α(+1)

特定非営利活動法人 南大阪地域大学コンソーシアム  
ニュースレター第8号(2005年9月1日発行)  
発行: 特定非営利活動法人 南大阪地域大学コンソーシアム事務局  
〒591-8025 堺市長曾根町130-42 さかい新事業創造センター1階  
TEL:(072)258-7646  
FAX:(072)258-7641  
mail:office@osaka-unicon.org  
URL:http://www.osaka-unicon.org